

# 小選挙区制 司法が断罪

## 「無効」判決も二つ

最大2.43倍の「1票格差」を是正せずに行われた昨年総選挙。「違憲」判決は14、「違憲状態」は2。うち二つは選挙自体を「無効」とする非常に厳しいものです。



## 「2倍以内はムリ」と押し通す

小選挙区制法案の審議(1993～94年)の際、日本共産党の追及に政府は「2倍以内はムリ。3倍未満だったらい」と押し通しました。ここに今日の問題の大本があります。

## 昨年衆院選の「1票の格差」をめぐる判決

|       |           |       |
|-------|-----------|-------|
| 3月6日  | 東京高裁      | 違憲    |
| 3月7日  | 札幌高裁      | 違憲    |
| 3月14日 | 仙台高裁      | 違憲    |
|       | 名古屋高裁     | 違憲状態  |
| 3月18日 | 福岡高裁      | 違憲状態  |
|       | 名古屋高裁金沢支部 | 違憲    |
| 3月22日 | 高松高裁      | 違憲    |
| 3月25日 | 広島高裁      | 違憲・無効 |
|       | 東京高裁      | 違憲    |
| 3月26日 | 広島高裁      | 違憲    |
|       | 同松江支部     | 違憲    |
|       | 同岡山支部     | 違憲・無効 |
|       | 福岡高裁那覇支部  | 違憲    |
|       | 同宮崎支部     | 違憲    |
|       | 大阪高裁      | 違憲    |
| 3月27日 | 仙台高裁秋田支部  | 違憲    |

## 「0増5減」急場しのぎで小選挙区固定

政府と自民・公明は小選挙区の「0増5減」法案を急いでいますが、最大格差は限りなく2倍に近い1.998倍。

「急場しのぎ」(「読売」)です。根本問題は解決しないばかりか、小選挙区を固定化するものです。

## 比例削減は筋ちがい

自公、民主は比例代表の削減をめぐっていますが、今回の判決は小選挙区の格差是正を問題にしており、

まったく筋違い。しかも民意を最も反映する比例を削減するのは「民意切り捨て」。絶対認められません。

共産党  
の提案

11ブロック比例代表  
格差1.03倍

# 民意反映し 格差是正も

選挙制度についての日本共産党の提案は▽小選挙区制廃止▽民意を最も正確に反映する比例代表への抜本改革—が中心です。

現在の衆院選挙制度は小選挙区300議席、比例180議席ですが、480議席をすべて全国11ブロックの比例代表選挙に割り振ります。これで一票の最大格差は1.03倍になります。

こうした改革で民意反映、格差是正がともに可能になります。

「小選挙区制をやめて比例代表制に移行してはどうか。国会議員が全国民の代表である限り、小選挙区に固執する必要はない」(東京新聞社説3月29日付)

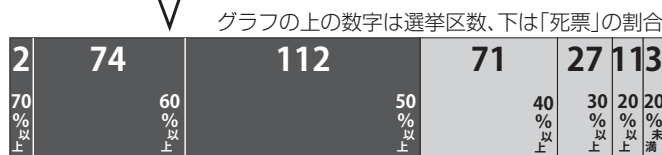
## 日本共産党が提案する 全国11ブロック比例代表制

| ブロック  | 定数  | 議員1人<br>当たり人口 | 格差     |
|-------|-----|---------------|--------|
| 北海道   | 21  | 262,210       | 1.0010 |
| 東北    | 35  | 266,732       | 1.0183 |
| 北関東   | 53  | 267,549       | 1.0214 |
| 南関東   | 60  | 268,795       | 1.0262 |
| 東京    | 49  | 268,559       | 1.0253 |
| 北陸信越  | 29  | 261,940       | 1.0000 |
| 東海    | 57  | 265,109       | 1.0121 |
| 近畿    | 78  | 267,989       | 1.0231 |
| 中国    | 28  | 270,122       | 1.0312 |
| 四国    | 15  | 265,152       | 1.0123 |
| 九州・沖縄 | 55  | 265,396       | 1.0132 |
| 定数合計  | 480 | 最大格差          | 1.031  |

# 顔が見え地方住民の声を反映

現行の11のブロック制は衆院議員 住民の声を反映しやすい、などの観点から維持します。

## 小選挙区「死票率50%超」が6割



昨年12月の総選挙で、「死票」の割合が50%以上となった小選挙区は全体の6割。最も多かったのは長野3区は72.23%に達しています。

「死票」率の高い小選挙区

|       |       |
|-------|-------|
| 長野3区  | 72.23 |
| 東京1区  | 70.69 |
| 東京23区 | 69.84 |
| 東京5区  | 69.46 |
| 北海道1区 | 68.93 |
| 京都3区  | 68.37 |
| 愛知5区  | 68.03 |
| 埼玉12区 | 68.01 |
| 東京18区 | 67.78 |
| 愛知12区 | 67.66 |